

# 平成29年度 第1回運営委員会議事録（メモ）

於：平成29年4月30日（日） 16:30～ 豊水会館・福まち会議室

## ○中村団長挨拶

本年度第1回目の運営委員会であるが、練習後に集まって頂きありがとうございます。  
運営委員会は団の運営についての意思決定機関であり、今後、様々な課題についてご議論を頂いて、より良い団運営が出来るようにしたい。そのため、運営委員の方々は所属パートの意見などをすくい上げ、運営委員会での議論に反映させて欲しい。

## ○団員現況について（鈴木副団長）

- ・パート状況については、依然としてユーフォニアムが厳しい状況。休団者の1名は間もなく復帰と思われるが日常の練習に影響がでている。定演ではエキストラもお願いすることになると思われる。
- ・テナーサクスは廣瀬さんが本日休団復帰したが、中屋さんが本日で退団となった。ホルンについても中野さんが先回の練習日で入団したが、藤田さんが退団となった。
- ・仮入団のチューバ・岡崎さん、アルトサクス・能登さんは継続して練習に参加されているので6月の練習日には団員の予定。
- ・団員募集は、テナーサクス、オーボエ、バスーン、ホルン、ユーフォニアムの5パートを継続募集。

## ○運営委員の役割について（確認）

- ・運営委員は、複数のパートの括りで団を4つのグループに分け、各グループから2名の運営委員を選出して貰っている。従って、そのグループの代表ということで、常日頃からグループの意見などを拾い上げて運営委員会に反映してほしい。
- ・運営委員に実務を担当して貰うことは考えていないが、運営委員会は団の意志決定機関なので様々な案件について議論をお願いしたり、ご意見を伺うことになる。

## ○賞罰委員会、コンプライアンス委員会の委員選出に付いて

- ・賞罰委員会の島田さんが運営委員を降りられ、賞罰委員会とコンプライアンス委員会の藤田さんは退団したため、次期の委員を選出しなければならない。次回運営委員会で後任を決めたい。

## ○赤れんがアーティストへの応募可否について

道庁ホームページに平成29年度応募要領が掲載されたので、アーティスト活動の具体内容について調査した。

- ・道庁としては道庁前広場の場所を用意するのみ、パフォーマンスの場所確保、準備等は全てアーティスト側で行う。
  - ・駐車場は特に用意していないので、広場内の適当な所に場所を確保して駐車する。
  - ・椅子などはアーティスト側で全て用意する。（客席の椅子も無いので、必要ならこれもアーティスト側で用意）
  - ・広場で同時に5組までのアーティストがパフォーマンスするので他のアーティストの邪魔にならないようにする。
- 等の条件があり、吹奏楽団の演奏にはそぐわないため、応募は見送ることとする。（過去に吹奏楽団のアーティスト登録はない。）

## ○平成29年度定期総会資料の最終確認

- ・総会資料（H28年度事業実施報告、決算報告、H29年度事業計画、予算案、第24回定期演奏会予算案）について運営委員と共に最終確認を行った。
- ・第23回定期演奏会の実施報告は中屋実行委員長、第24回定期演奏会の実施計画は阿部（薫）実行委員長がそれぞれ行う。
- ・資料については5/14練習日に配布する。但し、平成28年度決算報告書については監査を5/19に予定しているので当日配布とする。

○次回運営委員会 未定 《6月18日（練習日）16:30～》を予定